

外国人来訪者アンケート等調査結果

1.外国人訪問者アンケート調査結果

アンケート日時：2016年7月1日（金）、2日（土）の二日間

アンケート実施場所：とまりん内乗船券売場横

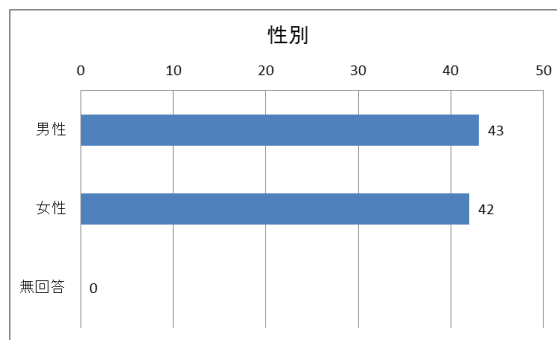
アンケート実施方法：乗船券の購入前後に、調査員（中国語・英語に対応）が調査票（繁体字、簡体字、英語）を配布し、その場で記入を依頼、回収した。

回収集：85票

1) 性別

回答者の性別は、「男性」が43人（50.6%）、女性が42人（49.4%）とほぼ同数となっている。

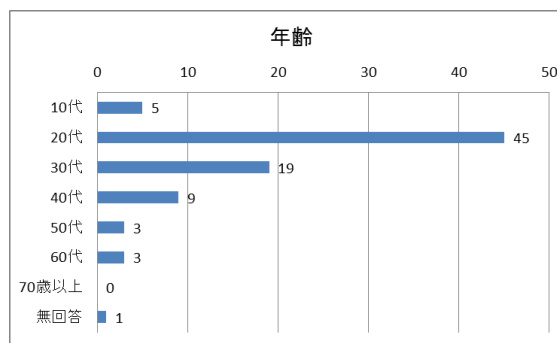
	実数	割合
男性	43	50.6%
女性	42	49.4%
無回答	0	0.0%
合計	85	100.0%



2) 年代

回答者の年代は、20代が45人（52.9%）と半数を占める。次いで30代が19人（22.4%）となっており、比較的若い世代が渡嘉敷村へ訪れている。

	実数	割合
10代	5	5.9%
20代	45	52.9%
30代	19	22.4%
40代	9	10.6%
50代	3	3.5%
60代	3	3.5%
70歳以上	0	0.0%
無回答	1	1.2%
合計	85	100.0%

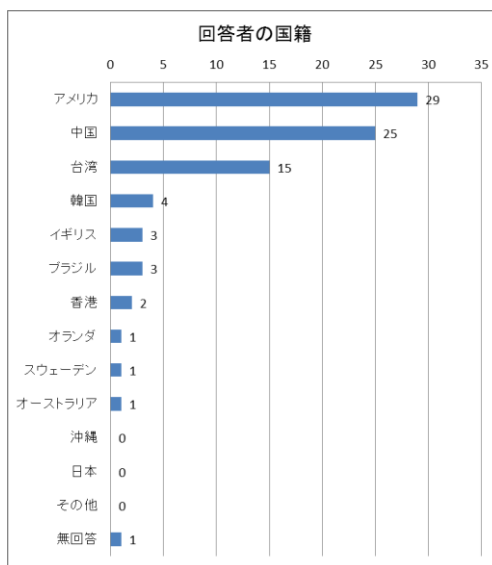


3) 回答者の国籍・地域

回答者の国籍・地域では、「アメリカ」が 29 人 (34.1%) と最も多くなっており、その中には「沖縄や県外在住」の方も含まれる。

2 番目に多いのは「中国」で 25 人 (29.4%)、次いで「台湾」15 人 (17.6%) と続いている。

	実数	割合
アメリカ	29	34.1%
中国	25	29.4%
台湾	15	17.6%
韓国	4	4.7%
イギリス	3	3.5%
ブラジル	3	3.5%
香港	2	2.4%
オランダ	1	1.2%
スウェーデン	1	1.2%
オーストラリア	1	1.2%
沖縄	0	0.0%
日本	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	1	1.2%
合計	85	100.0%

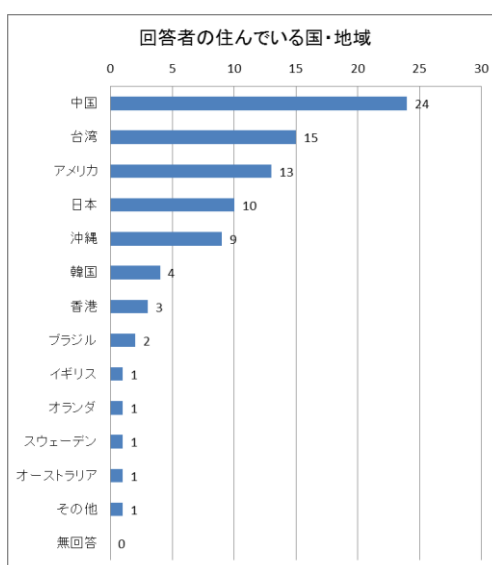


4) 住んでいる国・地域

住んでいる国・地域については、「中国」が 24 人 (28.2%)、「台湾」が 15 人 (17.6%)、「アメリカ」が 13 人 (15.3%) となっている。

次に多いのが、「日本」10 人 (11.8%)、「沖縄」9 人 (10.6%) となっている。

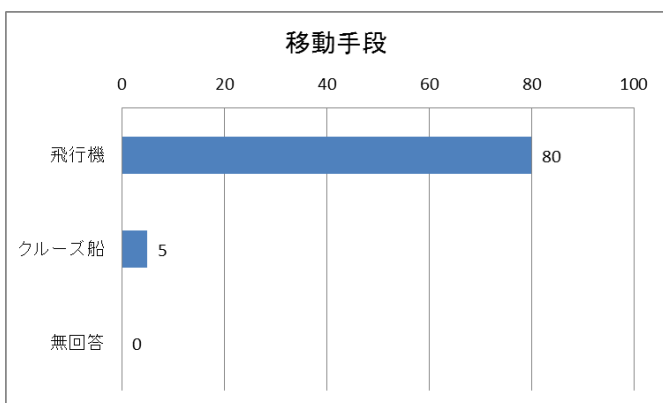
	実数	割合
中国	24	28.2%
台湾	15	17.6%
アメリカ	13	15.3%
日本	10	11.8%
沖縄	9	10.6%
韓国	4	4.7%
香港	3	3.5%
ブラジル	2	2.4%
イギリス	1	1.2%
オランダ	1	1.2%
スウェーデン	1	1.2%
オーストラリア	1	1.2%
その他	1	1.2%
無回答	0	0.0%
合計	85	100.0%



5) 沖縄までの移動手段

沖縄までの移動手段では、「飛行機」が80人（94.1%）とほとんどを占めている。「クルーズ船」利用の方は5人（5.9%）にとどまった。「クルーズ船」を利用した方は、県内・渡嘉敷村内の両方で宿泊している。

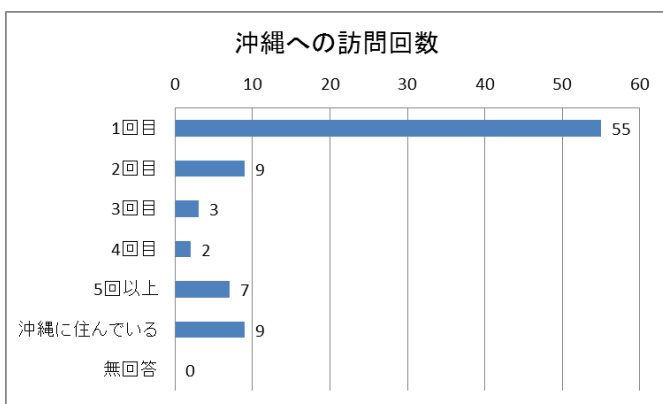
	実数	割合
飛行機	80	94.1%
クルーズ船	5	5.9%
無回答	0	0.0%
合計	85	100.0%



6) 沖縄県への来訪回数

沖縄県への来訪回数は、「1回目」が最も多く55人（64.7%）となっている。

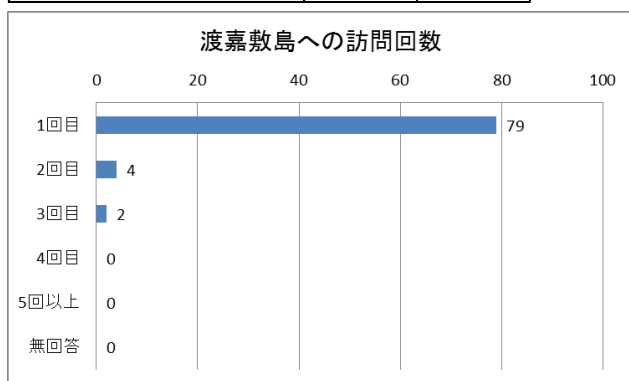
	実数	割合
1回目	55	64.7%
2回目	9	10.6%
3回目	3	3.5%
4回目	2	2.4%
5回以上	7	8.2%
沖縄に住んでいる	9	10.6%
無回答	0	0.0%
合計	85	100.0%



7) 渡嘉敷島への来訪回数

渡嘉敷島への来訪回数は、「1回目」が79人（92.9%）と大部分を占めるが、「2回目」が4人（4.7%）、「3回目」が2人（2.4%）とリピートも見られる。

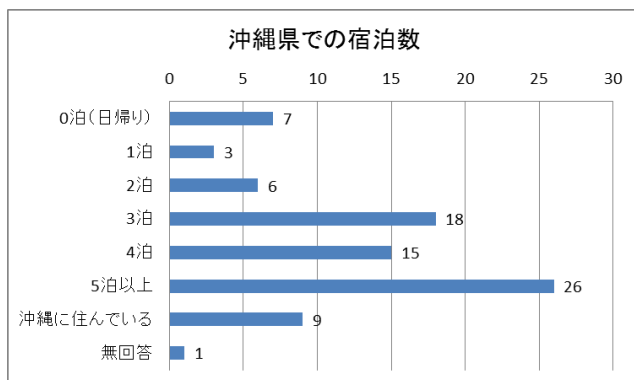
	実数	割合
1回目	79	92.9%
2回目	4	4.7%
3回目	2	2.4%
4回目	0	0.0%
5回以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	85	100.0%



8) 沖縄県での滞在日数

沖縄県での滞在日数は、「5泊以上」が26人（30.6%）と平成25年度の国内客における平均滞在日数「3.83日」より長い宿泊客が多い結果となった。

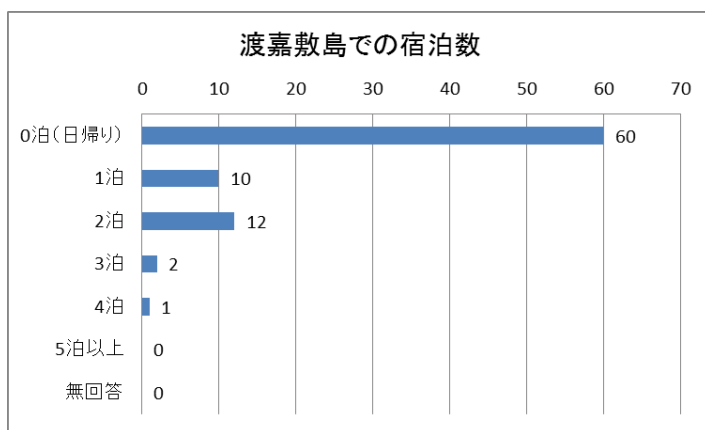
	実数	割合
0泊(日帰り)	7	8.2%
1泊	3	3.5%
2泊	6	7.1%
3泊	18	21.2%
4泊	15	17.6%
5泊以上	26	30.6%
沖縄に住んでいる	9	10.6%
無回答	1	1.2%
合計	85	100.0%



9) 渡嘉敷島での滞在日数

渡嘉敷島での滞在日数は「0泊（日帰り）」が最も多く、60人（70.6%）となっている。

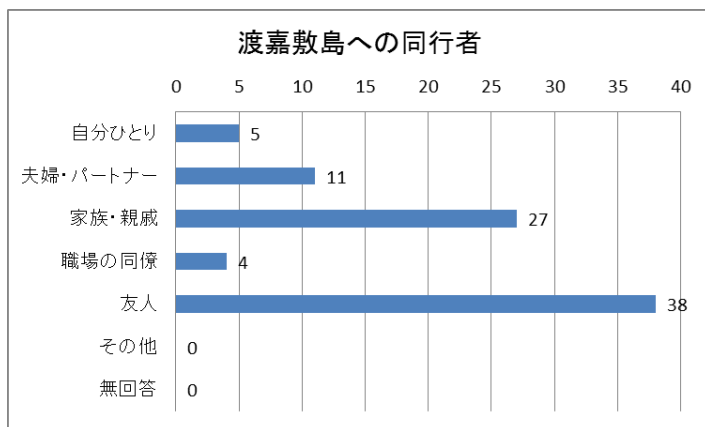
	実数	割合
0泊(日帰り)	60	70.6%
1泊	10	11.8%
2泊	12	14.1%
3泊	2	2.4%
4泊	1	1.2%
5泊以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	85	100.0%



10) 今回の旅行の同行者

旅行の同強者については、「友人」が38人（44.7%）と最も多く、次いで「家族・親戚」が27人（31.8%）、「夫婦・パートナー」が11人（12.9%）と続いている。

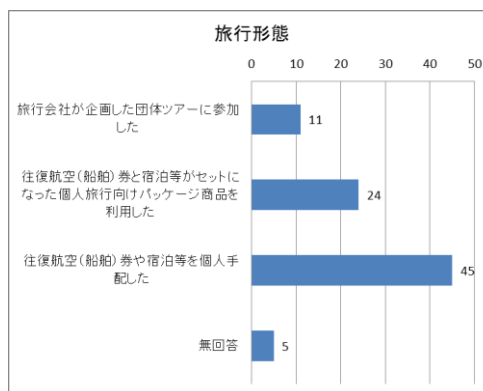
	実数	割合
自分ひとり	5	5.9%
夫婦・パートナー	11	12.9%
家族・親戚	27	31.8%
職場の同僚	4	4.7%
友人	38	44.7%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	85	100.0%



11) 今回の旅の旅行形態

旅行形態では、「往復航空(乗船)券や宿泊等を個人手配した」が最も多く、45人(52.9%)となっている。次いで「往復航空と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品」が24人(28.2%)となっている。この二つは、滞在中は個人で自由に旅行内容を決めることができ、観光情報の発信や外国語対応が重要なポイントになる。

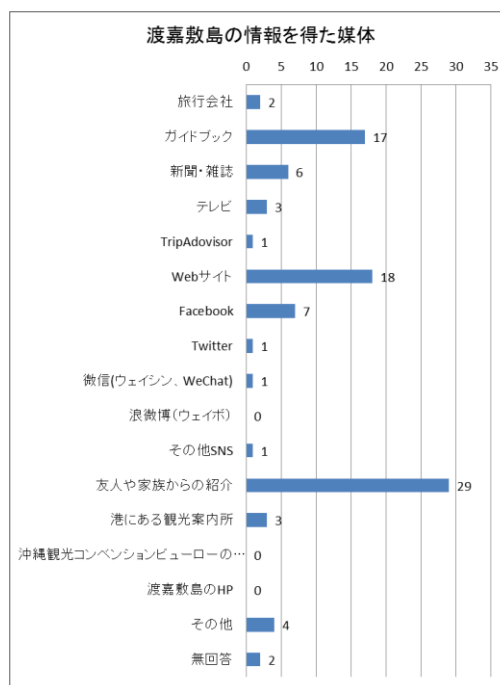
	実数	割合
旅行会社が企画した団体ツアーに参加した	11	12.9%
往復航空(船舶)券と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用した	24	28.2%
往復航空(船舶)券や宿泊等を個人手配した	45	52.9%
無回答	5	5.9%
合計	85	100.0%



12) 渡嘉敷島の情報を何で見たり聞いたりしたか

渡嘉敷島の情報を得ている媒体については、「友人や家族からの紹介」が29人(34.1%)と最も多くなっており、信頼できる方からの口コミが重要である。よって、渡嘉敷島に訪れている方の満足度を高めることが大切である。

	実数	割合
旅行会社	2	2.4%
ガイドブック	17	20.0%
新聞・雑誌	6	7.1%
テレビ	3	3.5%
TripAdvisor	1	1.2%
Webサイト	18	21.2%
Facebook	7	8.2%
Twitter	1	1.2%
微信(ウェイシン、WeChat)	1	1.2%
浪微博(ウェイボ)	0	0.0%
その他SNS	1	1.2%
友人や家族からの紹介	29	34.1%
港にある観光案内所	3	3.5%
沖縄観光コンベンションビューローのHP	0	0.0%
渡嘉敷島のHP	0	0.0%
その他	4	4.7%
無回答	2	2.4%
合計	95	—

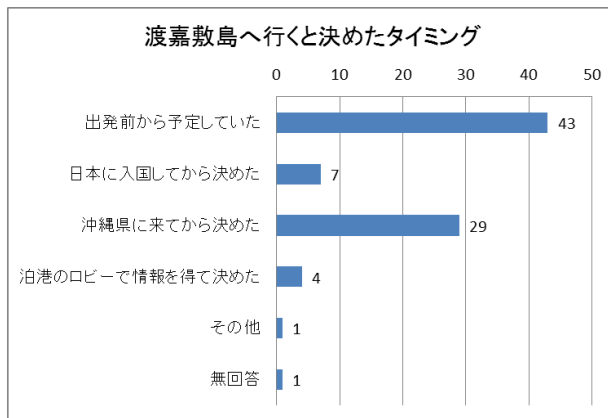


13) 渡嘉敷島へ行くとしたタイミング

渡嘉敷島へ行くとしたタイミングは、「出発前から予定していた」が 43 人 (50.6%) と最も多くなっている。

その反面、「日本に入国してから決めた」「沖縄県に来てから決めた」「泊港のロビーで情報を得て決めた」という出発して後から決めた方も半数近くいる。

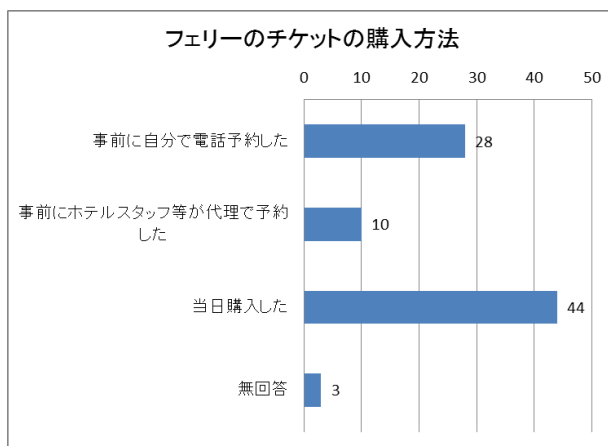
	実数	割合
出発前から予定していた	43	50.6%
日本に入国してから決めた	7	8.2%
沖縄県に来てから決めた	29	34.1%
泊港のロビーで情報を得て決めた	4	4.7%
その他	1	1.2%
無回答	1	1.2%
合計	85	100.0%



14) フェリーのチケットをどのように購入したか

フェリーのチケットの購入方法では、「当日購入した」が 44 人 (51.8%) と最も多くなっている。

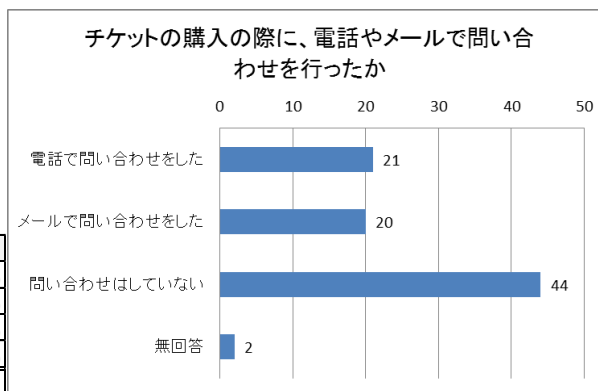
	実数	割合
事前に自分で電話予約した	28	32.9%
事前にホテルスタッフ等が代理で予約した	10	11.8%
当日購入した	44	51.8%
無回答	3	3.5%
合計	85	100.0%



15) チケット購入時に電話やメールで問い合わせを行ったか（複数回答）

電話やメールでの問い合わせについては、「電話で問い合わせをした」が 21 人（24.7%）、
「メールで問い合わせをした」が 20 人（23.5%）と、合わせて 48.2%の方が事前に問い合
わせを行っている。

	実数	割合
電話で問い合わせをした	21	24.7%
メールで問い合わせをした	20	23.5%
問い合わせはしていない	44	51.8%
無回答	2	2.4%
合計	87	—



※国籍×問い合わせをしたか

国籍・地域と問い合わせの関係を見ると、「中国」で「メールで問い合わせをした」が 12 人（48.0%）と高い割合となっている。「アメリカ」では「問い合わせはしていない」が最も多くなっているが、次いで「電話で問い合わせをした」が 10 人（34.5%）となっている。「台湾」については、「問い合わせをしていない」が 14 人（93.3%）と多くなっている。

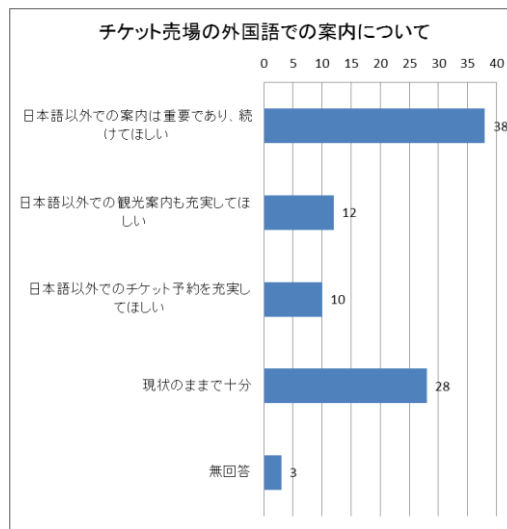
	電話で問い合わせをした	メールで問い合わせをした	問い合わせはしていない	無回答
アメリカ(29)	10 34.5%	5 17.2%	12 41.4%	2 6.9%
中国(25)	6 24.0%	12 48.0%	8 32.0%	0 0.0%
台湾(15)	1 6.7%	1 6.7%	14 93.3%	0 0.0%
韓国(4)	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
ブラジル(3)	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
イギリス(3)	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
香港(2)	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
スウェーデン(1)	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
オランダ(1)	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
オーストラリア(1)	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
無回答(1)	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	21 24.7%	20 23.5%	44 51.8%	2 2.4%

16) チケット売場での日本語以外での案内について（複数回答）

日本語以外での案内については、「日本語以外での案内は重要であり、続けてほしい」と回答した方が 38 人（44.7%）と最も多くなっている。「日本語以外での観光案内も充実してほしい」「日本語以外のチケット予約を充実してほしい」など外国語対応の充実を求める回答が多い。

「現状のままで十分」との回答も 28 人（32.9%）あり、現状の乗船券売り場で、英語、中国語に対応している効果が出ているものと考えられる。

	実数	割合
日本語以外での案内は重要であり、続けてほしい	38	44.7%
日本語以外での観光案内も充実してほしい	12	14.1%
日本語以外でのチケット予約を充実してほしい	10	11.8%
現状のままで十分	28	32.9%
無回答	3	3.5%
合計	91	—



※国籍・地域×日本語以外での案内の希望

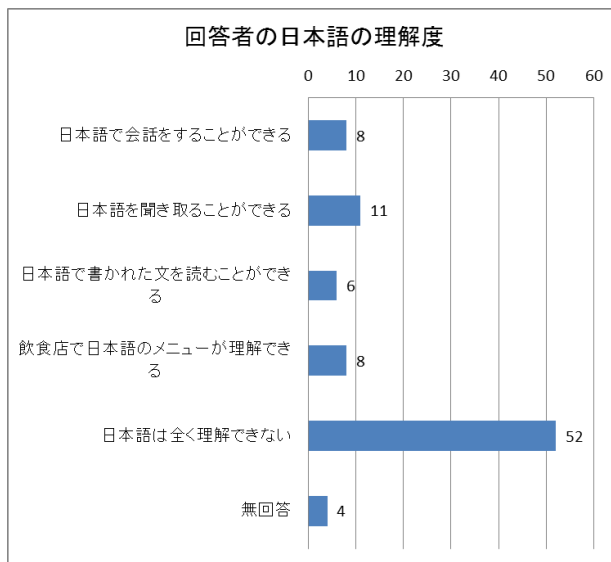
国籍・地域別で日本語以外の案内での希望を見ると、「中国」「台湾」「韓国」で「日本語以外での案内は重要であり、続けてほしい」の割合が最も多くなっている。現状でも英語・中国語で対応している状況であり、来訪者、特にアジア圏からの来訪者から必要性が示されている。

		日本語以外での案内は重要であり、続けてほしい	日本語以外での観光案内も充実してほしい	日本語以外でのチケット予約を充実してほしい	現状のままで十分	無回答
アメリカ(29)	実数	8	2	1	16	2
	割合	27.6%	6.9%	3.4%	55.2%	6.9%
中国(25)	実数	13	5	4	4	0
	割合	52.0%	20.0%	16.0%	16.0%	0.0%
台湾(15)	実数	10	4	2	3	0
	割合	66.7%	26.7%	13.3%	20.0%	0.0%
韓国(4)	実数	3	0	2	0	0
	割合	75.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
ブラジル(3)	実数	0	0	0	3	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
イギリス(3)	実数	1	1	0	1	0
	割合	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
香港(2)	実数	1	0	0	0	1
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
スウェーデン(1)	実数	0	0	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
オランダ(1)	実数	1	0	0	0	0
	割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
オーストラリア(1)	実数	0	0	1	0	0
	割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
無回答(1)	実数	1	0	0	0	0
	割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

17) 日本語を話すことができるか（複数回答）

日本語については、「日本語は全く理解できない」が 52 人（61.2%）と最も多くなっている。

	実数	割合
日本語で会話をする事ができる	8	9.4%
日本語を聞き取ることができる	11	12.9%
日本語で書かれた文を読むことができる	6	7.1%
飲食店で日本語のメニューが理解できる	8	9.4%
日本語は全く理解できない	52	61.2%
無回答	4	4.7%
合計	89	—



※国籍・地域×日本語を話すことができるか

国籍別に日本語能力を見ると、全ての国と地域で「日本語は全く理解できない」が最も多くなっている。特に「アメリカ」で 23 人（79.3%）と高くなっている。

「中国」では、「飲食店で日本語のメニューが理解できる」「日本語で書かれた文章を読むことができる」が比較的高く、「台湾」では「日本語を聞き取ることができる」が高くなっている。国・地域により日本語の能力は異なるものの、多言語に対応した案内表示等は必要な状況である。

	日本語で会話 をすることが できる	日本語を聞き 取ることが できる	日本語で書か れた文を読む ことができる	飲食店で日本 語のメニュー が理解できる	日本語は全く 理解できない	無回答
アメリカ(29)	3 10.3%	1 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	23 79.3%	2 6.9%
中国(25)	1 4.0%	1 4.0%	4 16.0%	5 20.0%	14 56.0%	0 0.0%
台湾(15)	1 6.7%	3 20.0%	0 0.0%	2 13.3%	8 53.3%	1 6.7%
韓国(4)	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%
ブラジル(3)	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
イギリス(3)	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
香港(2)	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
スウェーデン(1)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
オランダ(1)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
オーストラリア(1)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
不明(1)	0 0.0%	2 200.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

※休日（土）のチケット売場の状況

本日の運航表 (Today's timetable)		
フェリーとかしき(渡嘉敷船) Ferry Tokashiki(Slow Boat)		
	泊港発 Tomari Dep.	渡嘉敷港発 Tokashiki Dep.
1 便目	満席 10:00 Fully Booking	16:00
2 便目		

マリンライナーとかしき(高速船) Marine Liner(High Speed Boat)		
	泊港発 Tomari Dep.	渡嘉敷港発 Tokashiki Dep.
1 便目	満席 Fully Booking 9:00	10:00
2 便目	13:00	14:00
3 便目	16:30	満席 Fully Booking 17:30



2. とまりん発券所ヒアリング結果

- ・外国語対応（英語・中国語）で電話対応している。
- ・外国人が増えたのはSNSによる効果大きい。
- ・中国語に対応しており、問い合わせに答えてくれるということがSNSで広まったことが外国人観光客が増え続けている一番の要因である。
- ・渡嘉敷港に案内所を設置するよりも、泊港に設置したほうが効果は高い。
- ・渡嘉敷港では、フェリーから降りるとほとんどの方がバスに乗る。そうするとターミナル内の案内所には立ち寄れない。
- ・外国語対応の窓口があるだけで増えるわけではなく、対応しているという情報発信ができれば確実に増える。